

会派名 志翔会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目金額						小計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		調査委託費		振込料		
2	研修費	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	30,000	72,556
	地方議員研究会主催 研修会 受講料・振込料 旅費	交通費		旅費	42,340	自動車燃料費		
		資料作成費		食糧費		振込料	216	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費		
	地方議員研究会主催	資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費		
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代		
		振込料						
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		茶菓子代		振込料		
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料		
		振込料						
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料		
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料		
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費		
		印刷代		振込料		配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)		
		その他						
使用者	森合 秀行 	支出年月日	1/30年	2月 14 日	現金出納簿 支出番号	65	合計	72,556 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 65

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 森合 秀行



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	42,340 円（1人あたり 42,340 円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	研修	
用務先	東京都千代田区 TKP カンファレンスセンター	
内容	地方議員研究会主催研修会 未来を見据えた若者支援と親支援の充実を目指して 不登校支援における行政支援と民間支援の相違点 2/15 14:00~16:30 家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは 2/16 10:00~12:30	
期間	30年 2月 15 日 ~30年 2月 16 日（1泊2日）	
行程	別紙行程表のとおり	
出張（調査等）者氏名	・森合 秀行 ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	H30年 2月 14日
			許可日	H30年 2月 14日
			支出日	H30年 2月 14日

上記金額を受領しました。

H30年 2月 14日

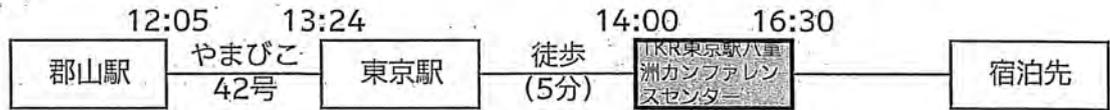
申請代表者氏名 森合 秀行



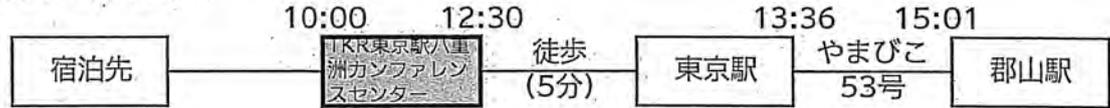
平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

□ 平成30年2月15日 (木)



□ 平成30年2月16日 (金)



2 人員 1名

森合 秀行議員

3 内容

【地方議員研究会主催研修会】

未来を見据えた若者支援と親支援の充実を目指して

○2月15日 (木) 14:00~16:30

不登校支援における行政支援と民間支援の相違点

○2月16日 (金) 10:00~12:30

家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは

4 連絡先

○地方議員研究会

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 志翔会

参加議員 : 森合 秀行

日 程 : 平成30年2月15日(木) - 16日(金)

行 先 : TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター (東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング)

2月15日	郡	東								
	山	京								
	駅	駅								
			やまびこ 42号							
			226.7							
運賃	4,000									4,000
急行料金	3,680									3,680
グリーン	3,090									3,090
実費										0

2月16日	東	郡								
	京	山								
	駅	駅								
			やまびこ 53号							
			226.7							
運賃	4,000									4,000
急行料金	3,680									3,680
グリーン	3,090									3,090
実費										0

運賃										0
急行料金										0
グリーン										0
実費										0

交通費	21,540		21,540	
日 当	3,000 ×	2日 =	6,000	
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800	
合 計			42,340円	× 1人 = <u>42,340円</u>

地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、アランレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようご注意ください。

未来を見据えた若者支援と親支援の充実を目指して **in 東京**

～福祉と教育への社会投資が自治体にもたらすベネフィットとは～

2月15日 木

10:00～12:30 講師 水野 達朗

大人のひきこもり問題を考える

～10年後の自治体に影響を与える若者支援について～

- ・ひきこもりの現状と課題
- ・合理的な社会投資としての若者支援
- ・行政支援の現状と課題
- ・職員として抱んでおきたい行政支援のポイント

○ 14:00～16:30 講師 山下真理子

不登校支援における行政支援と民間支援の相違点

～不登校支援と家庭教育支援の現場で活躍する支援者から議員に向けての問題提起～

- ・ひきこもり予防は学齢期から
- ・見守る支援から積極的に関わる支援への転換
- ・家庭ノートチェック法で親を支える
- ・現場の支援者が議員に伝えたい不登校の真実

2月16日 金

○ 10:00～12:30 講師 水野達朗

家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは

～国の有識者会議の委員が解説する最新議論～

- ・予防的な家庭教育支援の現状
- ・文科省の家庭教育支援に関する検討委員会の要点と解説
- ・家庭教育支援の先進事例の紹介と解説
- ・合理的な社会投資のために議員としてできること

14:00～16:30 講師 水野達朗

福祉と教育の縦割りを乗り越える

～ネウボラとアウトリーチ型家庭教育支援の運動が生み出す親子の笑顔～

- ・ネウボラとは何か
- ・日本版ネウボラ(子育て世代包括支援センター)の課題と展望
- ・福祉と教育の縦割りの現状
- ・真の「切れ目のない子育て支援」とは

講師 水野 達朗 みずの たつろう

一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事、大阪府大東市教育委員、文部科学省「家庭教育支援チームの在り方に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援手法等に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」委員、大阪府教育委員会「こころの再生百人衆」など

不登校の復学支援や予防・開発的な家庭教育支援を積極的にやっている。自治体対象の家庭教育支援プロジェクトなどの社会的支援や、国の家庭教育支援政策、家庭教育の重要性を啓発する講演会やセミナーなども行っている。著書に、「ころんでも立ち上れる子はあなたが育てる」(牧歌舎2013年4月出版)、「無理して学校へ行かなくてもいい、は本当か」(PHP研究所2015年10月出版)など

講師 山下 真理子 やました まりこ

一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンプ所属。家庭教育チーフアドバイザー。不登校専門の訪問カウンセリング領域と、保護者対象の家庭教育支援領域を専門分野としている。

不登校支援では待っているだけでは解決できないケースに対して、直接的に家庭に介入して支援をするアウトリーチ型支援で多くの不登校の子どもたちを復学へと導く。家庭教育支援では保護者に寄り添い日々の悩みを傾聴するカウンセリングだけでなく、どのように対応をすれば子どもの自立を育めるのかなどを具体的にアドバイスもしている。PTA主催の家庭教育講演会や各種団体の不登校セミナーの講師としても活躍中。



↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

	2月15日(木)	2月16日(金)
10:00 ~ 12:30	<input type="checkbox"/> 大人のひきこもり問題を考える	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは
14:00 ~ 16:30	<input type="checkbox"/> 不登校支援における行政支援と民間支援の相違点	<input type="checkbox"/> 福祉と教育の縦割りを乗り越える

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	() - () - ()	FAX番号	() - () - ()
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他 ()		
当日不参加の場合はチェックください		<input type="checkbox"/>	当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望)

開催場所

TKP東京駅八重洲
カンファレンスセンター

[4講座同場所] 〒104-8388東京都中央区
京橋1-7-1戸田ビルディング

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



東京駅 八重洲中央口より 徒歩5分

赤い「紳士服コナカ」の看板が目印

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 65

区 分 ※該当する区分に○印				費 目 名
1 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 2 研修費	3 広報費	4 広聴費	出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）			
支出目的 (支出事由)	研修 地方議員研究会主催研修会 受講料			
内 容	不登校支援における行政支援と民間支援の相違点 2月15日 14時～16時30分 家庭教育委支援から取り組む合理的な社会投資とは 2月16日 10時～12時30分			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額	
30年 2月5日	地方議員研究会		30,000円	
上記のとおり支出します。				
				議員氏名 森合 秀行



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

原本

写し

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
30-02-05	██████	通帳送金
記号	番号	
*****	██████	
取扱番号	お取引金額	
N097	*30,000	
	残高	
	██████	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ [®] インケンキユウカイ		
送金料金 *216円 振込予定日 30-02-05 コオリヤマシキ [®] カイ シシヨウカイ モリアイヒテ [®] ユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。
 ゆうちよ銀行

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
30-02-05	██████	通帳送金
記号	番号	
*****	██████	
取扱番号	お取引金額	
N097	*30,000	
	残高	
	██████	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ [®] インケンキユウカイ		
送金料金 *216円 振込予定日 30-02-05 コオリヤマシキ [®] カイ シシヨウカイ モリアイヒテ [®] ユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。
 ゆうちよ銀行

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 85

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 2 研修費	3 広報費	4 広聴費		振込料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)	研修 地方議員研究会主催研修会 振込料				
内 容	不登校支援における行政支援と民間支援の相違点 2月15日 14時～16時30分 家庭教育委支援から取り組む合理的な社会投資とは 2月16日 10時～12時30分				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
30 年 2 月 5 日	ゆうちょ銀行 地方議員研究会		216 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 森合 秀行 					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

写し

ご利用明細票

お取扱日	店 番	お取引内容
30-02-05		通帳送金
記 号		番 号

取扱番号	お取引金額	
N097	*30,000	
	残 高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ°インケンキユウカイ		
送金料金 *216 円 振込予定日 30-02-05 コオリヤマシキ°カイ シシヨウカイ モリアイヒテ°ユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

— ゆうちょ銀行 —

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

未来を見据えた若者支援と親支援の充実を目指して in 東京

～福祉と教育への社会投資が自治体にもたらすベネフィットとは～

2月15日 木

10:00～12:30 講師 水野達朗

大人のひきこもり問題を考える

～10年後の自治体に影響を与える若者支援について～

- ・ひきこもりの現状と課題
- ・合理的な社会投資としての若者支援
- ・行政支援の現状と課題
- ・議員として抱んでおきたい行政支援のポイント

14:00～16:30 講師 山下真理子

不登校支援における行政支援と民間支援の相違点

～不登校支援と家庭教育支援の現場で活躍する支援者から議員に向けての問題提起～

- ・ひきこもり予防は学齢期から
- ・見守る支援から積極的に関わる支援への転換
- ・家庭ノートチェック法で親を支える
- ・現場の支援者が議員に伝えたい不登校の真実

2月16日 金

10:00～12:30 講師 水野達朗

家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは

～国の有識者会議の委員が解説する最新議論～

- ・予防的な家庭教育支援の現状
- ・文科省の家庭教育支援に関する検討委員会の要点と解説
- ・家庭教育支援の先進事例の紹介と解説
- ・合理的な社会投資のために議員としてできること

14:00～16:30 講師 水野達朗

福祉と教育の縦割りを乗り越える

～ネウボロとアウトリーチ型家庭教育支援の運動が生み出す親子の笑顔～

- ・ネウボロとは何か
- ・日本版ネウボロ(子育て世代包括支援センター)の課題と展望
- ・福祉と教育の縦割りの現状
- ・真の「切れ目のない子育て支援」とは

講師 水野達朗 みずの たつろう

一般社団法人家庭教育支援センター・ペアレンツキャンプ代表理事、大阪府大東市教育委員、文部科学省「家庭教育支援チームの在り方に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援手法等に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」委員、大阪府教育委員会「こころの再生百人衆」など

不登校の復学支援や予防・開発的な家庭教育支援を精力的に行っている。自治体対象の家庭教育支援プロジェクトなどの社会的支援や、国の家庭教育支援政策、家庭教育の重要性を啓発する講演会やセミナーなども行っている。著書に、「ころんでも立ち上げられる子はあなたが生きてる」(教文館2013年4月出版)、「無理して学校へ行かなくてもいい、は本当か」(PHP研究所2015年10月出版)など

講師 山下真理子 やました まりこ

一般社団法人家庭教育支援センター・ペアレンツキャンプ所属。家庭教育チーフアドバイザー。不登校専門の訪問カウンセリング領域と、保護者対象の家庭教育支援領域を専門分野としている。

不登校支援では待っているだけでは解決できないケースに対して、直接的に家庭に介入して支援をするアウトリーチ型支援で多くの不登校の子どもたちを復学へと導く。家庭教育支援では保護者に寄り添い日々の悩みを傾聴するカウンセリングだけではなく、どのように対応をすれば子どもの自立を育めるのかなどを具体的にアドバイスもしている。PTA主催の家庭教育講演会や各種団体の不登校セミナーの講師としても活躍中。



↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

2月15日(木)		2月16日(金)	
10:00 ~ 12:30	<input type="checkbox"/> 大人のひきこもり問題を考える	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは	
14:00 ~ 16:30	<input type="checkbox"/> 不登校支援における行政支援と民間支援の相違点	<input type="checkbox"/> 福祉と教育の縦割りを乗り越える	

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他 ()		
当日不参加の場合はチェックください		<input type="checkbox"/>	当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望)

開催場所

TKP東京駅八重洲
カンファレンスセンター

[4講座同場所] 〒104-8388東京都中央区
京橋1-7-1戸田ビルディング

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



東京駅 八重洲中央口より 徒歩5分

赤い「紳士服コナカ」の看板が目印

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 65

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・森合 秀行		・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ
・	Ⓜ	・	Ⓜ

記

期 間	H30年 2 月 15 日 ～ H30 年 2 月 16 日（ 1 泊 2 日）					
目 的	地方議員研究会主催研修会参加のため					
用 務 先	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	内容：不登校支援における行政支援と民間支援の相違点、家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは					
	成果：別紙研修報告書の通り					
旅 費 精 算	受領額	42,340 円	精算額	42,340 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

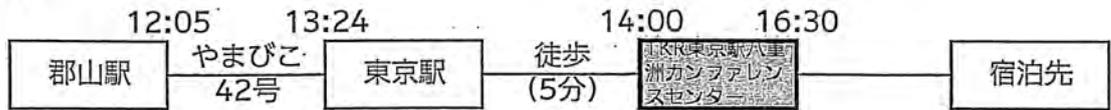
会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	H30年 2 月 19 日
			確 認 日	H30年 2 月 19 日
			精 算 日	H30年 2 月 19 日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

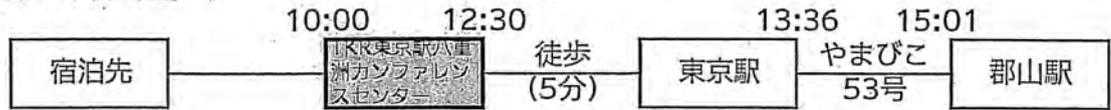
平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

□平成30年2月15日(木)



□平成30年2月16日(金)



2 人員 1名

森合 秀行議員

3 内容

【地方議員研究会主催研修会】

未来を見据えた若者支援と親支援の充実を目指して

○2月15日(木) 14:00~16:30

不登校支援における行政支援と民間支援の相違点

○2月16日(金) 10:00~12:30

家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは

4 連絡先

○地方議員研究会

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

志翔会研修報告書

平成 30 年 2 月 15・16 日実施

不登校支援における行政支援と民間支援の相違点 家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは

・不登校支援における行政支援と民間支援の相違点

平成 30 年 2 月 15 日、東京駅から徒歩 5 分の所にある TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンターにおいて、地方議員研究会主催の「不登校支援における行政支援と民間支援の相違点」というタイトルで研修が行われた。講師は、一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンプ所属の家庭教育チーフアドバイザーの山下真理子氏だった。今回は、1：不登校支援における民間支援と行政支援の相違、2：積極的にかかわる支援とは、3：家庭ノートチェック法で親を支える、4：現場の支援者が議員に伝えたい不登校の真実の 4 つの項目に従って説明をした。まず、4 つの説明に先立ち山下氏は、不登校支援がなぜ必要なのかというと不登校を改善しておかないと将来的には大人になってからの長期のひきこもりにつながる可能性が高いということを指摘していた。確かに、身の回りにいる 30～40 代のひきこもりの大人たちは、小中学生時代の不登校経験者あるいは高校の中途退学者が非常に多いような気がするので、非常に納得させられた。次に 4 つの項目の説明に入った。1 点目の不登校支援における行政支援と民間支援の相違点の説明を行った。行政支援は、登校刺激に関しては消極的、来談者中心療法が中心、欠席扱いにならないシステムを提案する、医療関連機関へのリファーという特徴があることを説明した。それに対し、民間支援は、多種多様な親子のニーズに応える、福祉的手法と教育的手法を複合する、有料なので保護者の経済的負担が大きいという特徴を説明した。行政支援、民間支援互いにメリット、デメリットがあるとのことだった。2 点目の積極的に関わる支援についての説明があった。山下氏の所属するペアレンツキャンプでは、「親が学べば子は伸びる、親が変われば子も変わる」というコンセプトの下、家庭教育支援と訪問カウンセリングを組み合わせる手法で復学支援を行っているとのことだった。ここでは、山下氏が実際に復学まで導いた事例を交えて説明をおこなった。3 点目の家庭ノートチェック法については、PCM 理論に基づいて、親子の会話をチェックして親子それぞれの問題点を発見し改善を促す手法とのことだった。4 点目の現場の支援者が議員に伝えたい不登校の真実については、今まで携わって学校復帰までに導いた親から送られた感謝の手紙の紹介があった。ここでは、不登校にもそれぞれケースが異なるためにそれに合わせた対処が必要であることを力説していた。

・家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは

平成30年2月16日、東京駅から徒歩5分の所にあるTKP東京駅八重洲カンファレンスセンターにおいて、地方議員研究会主催の「家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは」というタイトルで研修が行われた。講師は、一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事で大阪府大東市教育委員もつとめる水野達朗氏だった。今回の研修では、1：予防的な家庭教育支援の現状、2：文科省の家庭教育支援に関する要点と解説、3：家庭教育支援の先進事例の紹介と解説、4：合理的な社会投資のために議員としてできることの4点について解説を受けた。まず、説明に先立ち家庭教育とはどのようなものか説明をした。家庭教育とは、共感力、学力、社会性、行動力を核としてすべての教育の基礎となるとのことだった。次に4つの項目の説明に入り、1点目の家庭教育支援については、核家族化、地域とのつながりの希薄化により誰にも頼れず、悩み戸惑いながら子育てをしている保護者に家庭教育の学習機会や情報を提供しサポートするのが家庭教育支援とのことだった。具体的には、子育てサロン、子育てセミナー、家庭に対する個別訪問、学生に対する講座、リーフレット等による啓発、電話や来談での個別相談などがあるとのことだった。2点目の文科省の家庭教育支援に関する要点と解説については、文科省の家庭教育支援に関する審議会委員をつとめた水野氏ならではの鋭い視点での解説があった。特に家庭訪問型支援については、国の積極的な財政措置があり本市も注目すべき点と感じた。3点目の家庭教育支援の先進事例の紹介については、水野氏が教育委員をつとめる大阪府大東市の事例の紹介があった。大東市の家庭教育支援は、ベルト型の訪問型家庭教育支援、課題から逆算して組織を作るという視点、活動指標として具体的な目標値を設定という3つの特徴があるとのことだった。本市も大東市の事例を是非参考にすべきと感じた。最後の4点目の合理的な社会投資のために議員としてできることについては、文科省といった国の動向や家庭教育に関する法令をきちんと踏まえた上での一般質問等で提案が必要であると強く感じた。

地方議員研究会 主催

未来を見据えた若者支援と親支援の充実を目指して②

～福祉と教育への社会投資が自治体にもたらすベネフィットとは～

不登校支援における行政支援と民間支援の相違点

～不登校支援と家庭教育支援の現場で活躍する支援者
から議員に向けての問題提起～



講師：山下真理子

(家庭教育支援センターペアレンツキャンプ)

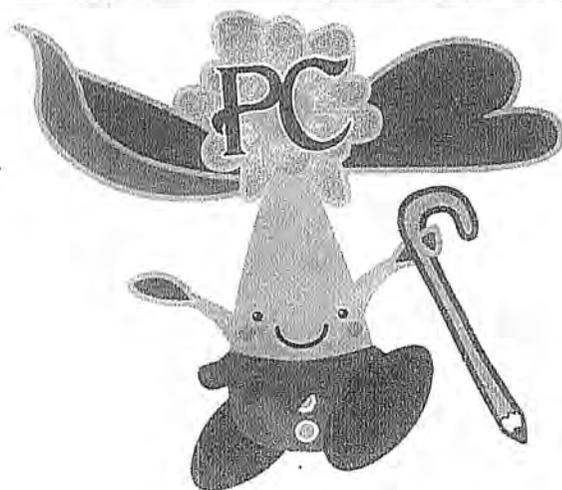
地方議員研究会 主催

未来を見据えた若者支援と親支援の充実を目指して③

～福祉と教育への社会投資が自治体にもたらすベネフィットとは～

家庭教育支援から取り組む合理的な社会投資とは

～国の有識者会議の委員が解説する最新議論～



講師：水野達朗

(家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事)

会派名

志翔会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目				金額		小計
1	調査研究費	行政調査に係る旅費（戸田市、嬉野市、北九州市）	交通費		旅費	1,726,300	自動車燃料費	1,726,300
			資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		広報誌（紙）		報告書等印刷費	
			送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料					
4	広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
6	会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
			振込料					
8	資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞（日刊紙）購読料	
			雑誌等購読料		有料データベース等利用料			
9	人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等（按分）		郵便料等		自動車燃料費（按分）	
			その他					
使用者	共通	ⓐ 支出年月日	平成30年 3月 15日		現金出納簿 支出番号	73	合計	1,726,300 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 73

会派会長様

申請代表者氏名 森合 秀行



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	1,726,300円（1人あたり）		円
	※別紙、旅費計算書のとおり		
目的	行政調査		
用務先	① 戸田市役所 ② 嬉野市役所 ③ 北九州次世代エネルギーパーク		
内容	① 戸田市政策研究所の取組みについて ② 議会改革について ③ 北九州次世代エネルギーパーク		
期間	平成30年 3月27日 ~ 平成30年 3月 29日（2泊 3日）		
行程	別紙行程表のとおり		
出張（調査等）者氏名	・高橋隆夫 ・鈴木祐治 ・大内嘉明 ・七海喜久雄 ・久野三男 ・諸越裕	・塩田義智 ・川前光徳 ・佐藤徹哉 ・大木進 ・佐藤栄作 ・馬場大造	・山口信雄 ・森合秀行 ・佐藤政喜
特記事項			

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	平成30年3月15日
			許可日	平成30年3月15日
			支出日	平成30年3月15日

上記金額を受領しました。

平成30年 3月15日

申請代表者氏名 森合 秀行



平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

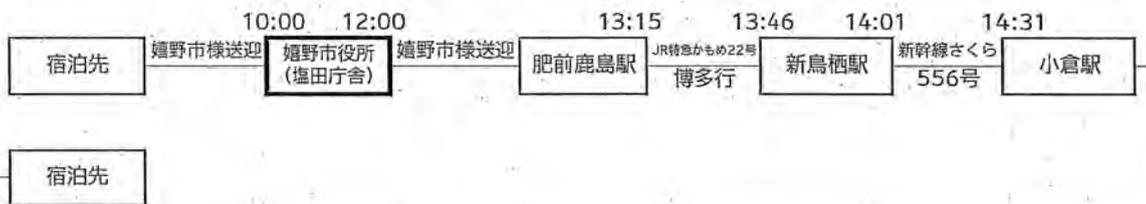
□ 1日目：平成30年3月27日（火）

戸田市：戸田市政策研究所の取組みについて



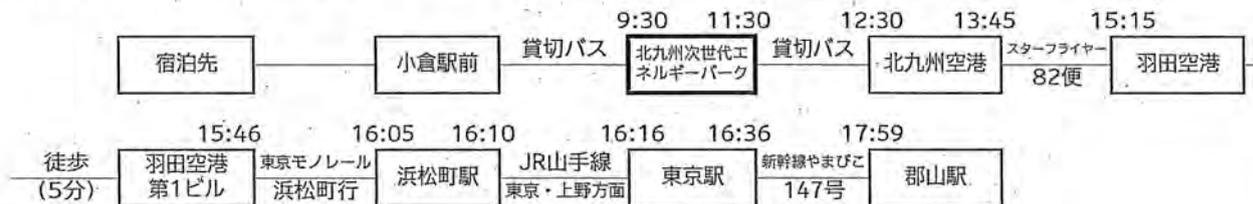
□ 2日目：平成30年3月28日（水）

嬉野市：議会改革について



□ 3日目：平成30年3月29日（木）

北九州市：北九州次世代エネルギーパークについて



2 調査者

15名

高橋 隆夫 議員
 鈴木 祐治 議員
 大内 嘉明 議員 (会長)
 七海喜久雄 議員
 久野 三男 議員
 諸越 裕 議員
 塩田 義智 議員
 川前 光徳 議員
 佐藤 徹哉 議員
 大木 進 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員
 馬場 大造 議員
 佐藤 政喜 議員 (議長)

3 調査項目

- (1) 平成30年3月27日（火） 9:30～11:30
 戸田市役所
 ・戸田市政策研究所の取組みについて
- (2) 平成30年3月28日（水） 10:00～12:00
 嬉野市役所
 ・議会改革について
- (3) 平成30年3月29日（木） 9:30～11:30
 北九州市役所
 ・北九州次世代エネルギーパークについて

4 連絡先

- 戸田市議会事務局 (担当：仙波様)
 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号
 TEL 048-441-1800 (代) 内線54 FAX 048-433-2212
- 嬉野市議会事務局 (担当：武藤 (たけふじ) 様)
 〒849-1411 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地
 TEL 0954-66-9127 FAX 0954-66-2887
- 北九州市議会事務局 (担当：三橋様)
 〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区内1番1号
 TEL 093-582-2632 FAX 093-582-2685

5 その他

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 志翔会

参加議員 : 高橋隆夫、鈴木祐治、大内嘉明、七海喜久雄、久野三男、諸越裕、塩田義智、川前光徳、佐藤徹哉、大木進、山口信雄、佐藤栄作、森合秀行、馬場大造、佐藤政喜

日 程 : 平成30年3月27日(火) - 29日(木)

行 先 : 戸田市役所(埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号)

嬉野市役所(佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地)

北九州次世代エネルギーパーク(福岡県北九州市若松区向洋町10-20)

3月27日	郡山駅	大宮駅	武蔵浦和駅	戸田駅	赤羽駅	浜松町駅	羽田空港		
	やまびこ120号 196.4	JR埼京線 7.4	JR埼京線 3.8	JR埼京線 6.8	JR京浜東北線 16.3	東京モノレール 17.8	徒歩		
運賃	4,000						490		4,490
急行料金	2,590								2,590
グリーン	2,060								2,060
実費									0

3月27日	羽田空港	福岡空港	福岡空港駅	博多駅	肥前鹿島駅				
	ANA 257便 1041.0	徒歩	福岡市地下鉄空港線 3.3	JR特急かもめ35号 83.2					
運賃	15,790		260	1,650					17,700
急行料金				1,450					1,450
グリーン									0
実費									0

3月28日	肥前鹿島駅	新鳥栖駅	小倉駅						
	JR特急かもめ22号 51.7	さくら556号 95.8							
運賃	2,750								2,750
急行料金	1,340	2,540							3,880
グリーン									0
実費									0

3月29日	小倉駅前	北九州次世代エネルギーパーク代	北九州空港	羽田空港	羽田空港	浜松町駅	東京モノレール	東山駅	郡山駅
	貸切バス	貸切バス	スターフライヤー82便 958.0	徒歩5分	徒歩	東京モノレール 17.0	JR山手線 3.1	やまびこ147号 226.7	
運賃	※		27,570			490		4,000	32,060
急行料金								3,680	3,680
グリーン								3,090	3,090
実費									0

※小倉-北九州次世代エネルギーパーク(パーク内は車両での移動)-北九州空港は貸切バス利用
63,550円(貸切バス代)-1,500円(交通雑費)×15人=41,050円を支出

交通費	73,750	73,750
日当	3,000 × 3日	= 9,000
宿泊費	14,800 × 2泊	= 29,600
合計	112,350円	× 15名 = 1,685,250円
	1,685,250円 + 41,050円(貸切バス代) = 1,726,300円	

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 73

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・高橋 隆夫		・諸越 裕	
・鈴木 祐治		・塩田 義智	
・大内 嘉明		・川前 光徳	
・七海 喜久雄		・大木 進	
・佐藤 政喜		・佐藤 栄作	
・久野 三男		・森合 秀行	
		・馬場 大造	

記

期 間	平成30年 3月 27日 ~ 平成30年 3月 29日 (2泊 3日)					
目 的	行政調査					
用 務 先	① 戸田市役所					
	② 嬉野市役所					
	③ 北九州市次世代エネルギーパーク					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書のとおり					
旅 費 精 算	受領額	1,726,300 円	精算額	1,725,700 円	返納額	600 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	平成30年 3月 30日
			確 認 日	平成30年 3月 30日
			精 算 日	平成30年 3月 30日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

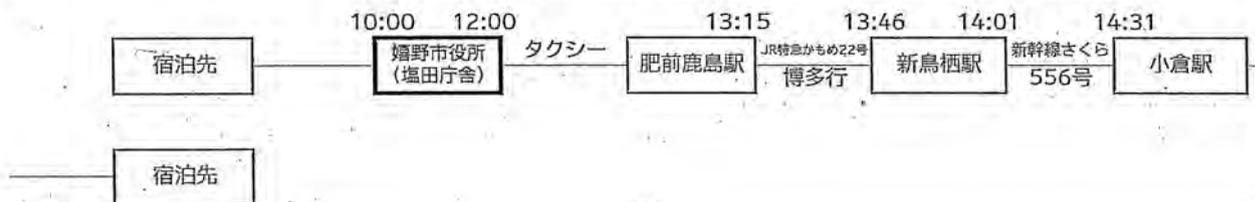
□ 1日目：平成30年3月27日（火）

戸田市：戸田市政策研究所の取組みについて



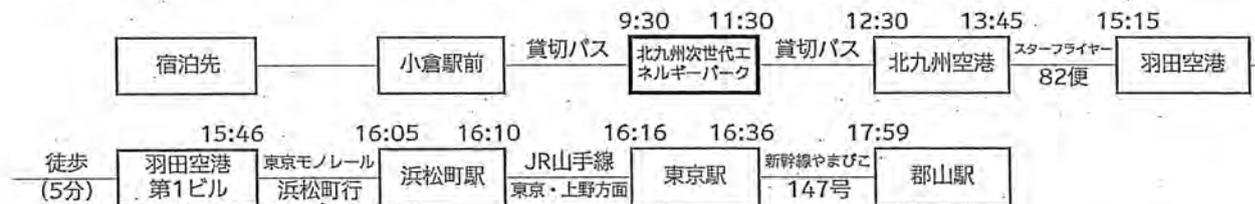
□ 2日目：平成30年3月28日（水）

嬉野市：議会改革について



□ 3日目：平成30年3月29日（木）

北九州市：北九州次世代エネルギーパークについて



2 調査者

15名

高橋 隆夫 議員
 鈴木 祐治 議員
 大内 嘉明 議員
 七海喜久雄 議員 (会長)
 久野 三男 議員
 諸越 裕 議員
 塩田 義智 議員
 川前 光徳 議員
 佐藤 徹哉 議員
 大木 進 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員
 馬場 大造 議員
 佐藤 政喜 議員 (議長)

3 調査項目

- (1) 平成30年3月27日（火） 9:30~11:30
 戸田市役所
 ・戸田市政策研究所の取組みについて
- (2) 平成30年3月28日（水） 10:00~12:00
 嬉野市役所
 ・議会改革について
- (3) 平成30年3月29日（木） 9:30~11:00
 北九州市役所
 ・北九州次世代エネルギーパークについて

4 連絡先

- 戸田市議会事務局 (担当：仙波様)
 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号
 TEL 048-441-1800 (代) 内線54 FAX 048-433-2212
- 嬉野市議会事務局 (担当： 様)
 〒849-1411 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地
 TEL 0954-66-9127 FAX 0954-66-2887
- 北九州市議会事務局 (担当：三橋様)
 〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区内1番1号
 TEL 093-582-2632 FAX 093-582-2685

5 その他

行政調査旅費計算書

変更前

会 派 名 : 志翔会

参加議員 : 高橋隆夫、鈴木祐治、大内嘉明、七海喜久雄、久野三男、諸越裕、塩田義智、川前光徳、佐藤徹哉、大木進、山口信雄、佐藤栄作、森合秀行、馬場大造、佐藤政喜

日 程 : 平成30年3月27日(火) - 29日(木)

行 先 : 戸田市役所(埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号)
 嬉野市役所(佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地)
 北九州次世代エネルギーパーク(福岡県北九州市若松区向洋町10-20)

3月27日	郡山駅	やまびこ120号 196.4	大宮駅	JR埼京線 7.4	武蔵浦和駅	JR埼京線 3.8	戸田駅	JR埼京線 6.8	赤羽駅	JR京浜東北線 16.3	浜松町駅	東京モノレール 17.8	羽田空港	徒歩	羽田空港
運賃	4,000										490		4,490		
急行料金	2,590														2,590
グリーン	2,060														2,060
実費															0

3月27日	羽田空港	ANA 257便 1041.0	福岡空港	徒歩	福岡空港駅	福岡市地下鉄空港線 3.3	博多駅	JR特急かもめ35号 83.2	肥前鹿島駅						
運賃	15,790				260		1,650								17,700
急行料金							1,450								1,450
グリーン															0
実費															0

3月28日	肥前鹿島駅	JR特急かもめ22号 51.7	新鳥栖駅	さくら556号 95.8	小倉駅										
運賃	2,750														2,750
急行料金	1,340		2,540												3,880
グリーン															0
実費															0

3月29日	小倉駅前	北九州次世代エネルギーパーク 貸切バス	北九州次世代エネルギーパーク 貸切バス	北九州空港	スタッフライヤー82便 958.0	羽田空港	徒歩5分	羽田空港	東京モノレール 17.0	浜松町駅	JR山手線 3.1	東横線	やまびこ147号 226.7	郡山駅
運賃	※			27,570					490		4,000			32,060
急行料金												3,680		3,680
グリーン												3,090		3,090
実費														0

※小倉-北九州次世代エネルギーパーク(パーク内は車両での移動)-北九州空港は貸切バス利用
 63,550円(貸切バス代)-1,500円(交通雑費)×15人=41,050円を支出

交通費 73,750 73,750
 日当 3,000 × 3日 = 9,000
 宿泊費 14,800 × 2泊 = 29,600
 合計 112,350円 × 15名 = 1,685,250円
 1,685,250円+41,050円(貸切バス代) = 1,726,300円

行政調査旅費計算書

変更後

会 派 名 : 志翔会

参加議員 : 高橋隆夫、鈴木祐治、大内嘉明、七海喜久雄、久野三男、諸越裕、塩田義智、川前光徳、佐藤徹哉、大木進、山口信雄、佐藤栄作、森合秀行、馬場大造、佐藤政喜

日 程 : 平成30年3月27日(火) - 29日(木)

行 先 : 戸田市役所(埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号)
 嬉野市役所(佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地)
 北九州次世代エネルギーパーク(福岡県北九州市若松区向洋町10-20)

3月27日	郡山駅	やまびこ120号 196.4	大宮駅	JR埼京線 7.4	武蔵浦和駅	JR埼京線 3.8	戸田駅	JR埼京線 6.8	赤羽駅	JR京浜東北線 16.3	浜松町駅	東京モノレール 17.8	羽田空港	徒歩	羽田空港
運賃	4,000										490			4,490	
急行料金	2,590														2,590
グリーン	2,060														2,060
実費															0

3月27日	羽田空港	ANA 257便 1041.0	福岡空港	徒歩	福岡空港駅	福岡市地下鉄空港線 3.3	博多駅	JR特急かもめ35号 83.2	肥前鹿島駅						
運賃	15,790				260		1,650								17,700
急行料金							1,450								1,450
グリーン															0
実費															0

3月28日	肥前鹿島駅	JR特急かもめ22号 51.7	新鳥栖駅	さくら556号 95.8	小倉駅										
運賃	2,750														2,750
急行料金	1,340		2,540												3,880
グリーン															0
実費															0

3月29日	小倉駅前	北九州次世代エネルギーパーク代 貸切バス	北九州空港	スターライナー82便 958.0	羽田空港	徒歩5分	羽田空港	東京モノレール 17.0	浜松町駅	JR山手線 3.1	東横線	やまびこ147号 226.7	郡山駅
運賃	※			27,570			490		4,000				32,060
急行料金											3,680		3,680
グリーン											3,090		3,090
実費													0

※小倉-北九州次世代エネルギーパーク(パーク内は車両での移動)-北九州空港は貸切バス利用
 62,950円(貸切バス代)-1,500円(交通雑費)×15人=40,450円を支出

交通費 73,750 73,750
 日当 3,000 × 3日 = 9,000
 宿泊費 14,800 × 2泊 = 29,600
 合計 112,350円 × 15名 = 1,685,250円
 1,685,250円+40,450円(貸切バス代)=1,725,700円

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No 047392

平成30年3月15日

高橋 隆夫 様

金額
 ¥ 4 3 3 6 0

但し今日迄257便・29-731ヤ-82便 44.11.12
 上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相 殺
<input type="checkbox"/>	振 込
<input type="checkbox"/>	手形 /
<input type="checkbox"/>	ギフト

印
紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
 TEL (024) 933-8394
 FAX (024) 938-3647

取扱者


※取扱者印の無いものは無効です

領 収 証

No 047393

平成30年3月15日

鈴木 祐治 様

金額
 ¥ 4 3 3 6 0

但し今日迄257便・29-731ヤ-82便 44.11.12
 上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相 殺
<input type="checkbox"/>	振 込
<input type="checkbox"/>	手形 /
<input type="checkbox"/>	ギフト

印
紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
 TEL (024) 933-8394
 FAX (024) 938-3647

取扱者


※後叙の領収書等を知る物口は、本領収書の裏面に記載されています。 ※取扱者印の無いものは無効です

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No 047394

平成30年3月15日

大内 嘉州 様

金額

但し金額257円・ス4-7-14-82円
上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相 殺
<input type="checkbox"/>	振 込
<input type="checkbox"/>	手形 /
<input type="checkbox"/>	ギフト

印
紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
TEL (024) 933-8394
FAX (024) 938-3647



取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 証

No 047395

平成30年3月15日

七海 喜久雄 様

金額

但し金額257円・ス4-7-14-82円
上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相 殺
<input type="checkbox"/>	振 込
<input type="checkbox"/>	手形 /
<input type="checkbox"/>	ギフト

印
紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
TEL (024) 933-8394
FAX (024) 938-3647



取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No 047396

領 収 証

平成30年3月15日

久野三男様

金額									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

但し全日空257便・スグ・フタバ-82便4回代と12
上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相殺
<input type="checkbox"/>	振込
<input type="checkbox"/>	手形/
<input type="checkbox"/>	ギフト

印

紙

大営観光株式会社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
TEL (024) 933-8394
FAX (024) 938-3647

取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

No 047397

領 収 証

平成30年3月15日

諸越裕様

金額									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

但し全日空257便・スグ・フタバ-82便4回代と12
上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相殺
<input type="checkbox"/>	振込
<input type="checkbox"/>	手形/
<input type="checkbox"/>	ギフト

印

紙

大営観光株式会社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
TEL (024) 933-8394
FAX (024) 938-3647

取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証		No 047398
平成30年 3月15日		
増田 義智 様		
金額	¥ 4 3 3 6 0	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 小切手 <input type="checkbox"/> 相 殺 <input type="checkbox"/> 振 込 <input type="checkbox"/> 手形/ <input type="checkbox"/> ギフト
<p>但し今日迄257便・スタ-7-イヤー-82便キット1に 上記の金額正に領収いたしました</p>		
印 紙	大 宮 観 光 株 式 有 限 公 司 代表取締役 宗 像 福島県郡山市並木1 TEL (024) 933-8394 FAX (024) 938-3647	取扱者 

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 証		No 047399
平成30年 3月15日		
川前 光徳 様		
金額	¥ 4 3 3 6 0	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 小切手 <input type="checkbox"/> 相 殺 <input type="checkbox"/> 振 込 <input type="checkbox"/> 手形/ <input type="checkbox"/> ギフト
<p>但し今日迄257便・スタ-7-イヤー-82便キット1に 上記の金額正に領収いたしました</p>		
印 紙	大 宮 観 光 株 式 有 限 公 司 代表取締役 宗 像 福島県郡山市並木1 TEL (024) 933-8394 FAX (024) 938-3647	取扱者 

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No. 047602

平成30年3月15日

山口 信雄 様

金額		¥	4	3	3	6	0
----	--	---	---	---	---	---	---

但し金額257便・ｽﾀｰﾌﾟﾗｲﾝ-82便 千円代とに
上記の金額正に領収いたしました

印
紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
TEL (024) 933-8394
FAX (024) 938-3647

取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 証

No. 047603

平成30年3月15日

佐藤 栄作 様

金額		¥	4	3	3	6	0
----	--	---	---	---	---	---	---

但し金額257便・ｽﾀｰﾌﾟﾗｲﾝ-82便 千円代とに
上記の金額正に領収いたしました

印
紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
TEL (024) 933-8394
FAX (024) 938-3647

取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

№ 047604

領 収 証

平成30年 3月15日

森合秀行 様

金額							
----	--	--	--	--	--	--	--

但し今日迄257便-24-734-82便 千円代と12
上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相殺
<input type="checkbox"/>	振込
<input type="checkbox"/>	手形/
<input type="checkbox"/>	ギフト

印

紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1丁目7番1号

TEL (024) 933-8394

FAX (024) 938-3647

取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

№ 047605

領 収 証

平成30年 3月15日

馬場大造 様

金額							
----	--	--	--	--	--	--	--

但し今日迄257便-24-734-82便 千円代と12
上記の金額正に領収いたしました

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	小切手
<input type="checkbox"/>	相殺
<input type="checkbox"/>	振込
<input type="checkbox"/>	手形/
<input type="checkbox"/>	ギフト

印

紙

大 営 観 光 株 式 会 社

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1丁目7番1号

TEL (024) 933-8394

FAX (024) 938-3647

取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

領 収 書 等 整 理 票

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

佐藤 政喜 様

№ 047606

平成30年 5月15日

金額									
		¥	4	3	3	6	0		

但し全日空257便・スターフライヤー82便・千代田代と12
上記の金額正に領収いたしました

印

紙

大 宮 観 光 株 式 有 限 公 司

代表取締役 宗 像

福島県郡山市並木1
TEL (024) 933-8394
FAX (024) 938-3647

取扱者

※取扱者印の無いものは無効です

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

平成30年3月30日

領収証明書

郡山市議会志翔会 様

平成30年3月29日(木)

北九州次世代エネルギーパーク視察に係る貸切バス代金等一式(税込)

項目	内容	数量	単位	単価	金額
貸切バス代	大型バス・ワンマン	1	台	59,400	59,400
有料道路代	北九州都市高速	2	回	1,030	2,060
〃	若戸トンネル	2	回	250	500
高速道路代	小倉東IC-苅田北九州空港IC	1	回	990	990
合計					¥62,950

上記のとおり領収したことを証明します。

住所 北九州市若松区東小石町3番1号
氏名 北九州市交通局 局長 吉田 茂人

【担当】北九州市小倉北区大手町1番1号
(小倉北区役所内)

TEL 093-582-3700
FAX 093-562-6901

平成30年3月30日

郡山市議会志翔会 様

業務実施報告書

- 1 件名
北九州次世代エネルギーパーク視察
- 2 業務内容
貸切バス運行（大型観光バス）
- 3 契約額
62,950円
- 4 履行期間
平成30年3月29日（木）
- 5 完了年月日
平成30年3月29日（木）

上記のとおり、実施したことを報告します。

住 所 北九州市若松区東小石3番1号
商 号 北九州市交通局
代表者 局長 吉田 茂

戸田市

戸田市政策研究所の取組みについて

戸田市は、埼玉県の南東部に位置し、荒川の自然に恵まれ、江戸時代には中山道の「戸田の渡し」が設置されるなど、交通の要衝として栄えてきたまちである。また、各種国際大会や国民体育大会のボート競技会場となる「戸田ボートコース」や、年間 100 万人以上が訪れる「彩湖・道満グリーンパーク」などを有する、水と緑豊かなオアシス都市である。東京に隣接した地理的条件は言うまでもなく魅力の一つであり、18.17 平方キロの狭い市域の中を J R 埼京線が通り、新宿駅まで約 20 分で到着することができる。そのため、1985 年の J R 埼京線開通以来、人口増加が続き、当時 7 万 6000 人程度だった人口は現在 13 万 8000 人を超え、今もなお増加が続く、「地の利」と「人の利」に恵まれた将来にわたって持続可能なポテンシャルの高いまちである。しかしながら、都市ランキングで上位の評価を得るようになったが、依然として戸田市の認知度は低く、定まったイメージを持たれていない状況で戸田市の「名前も知らない」との回答が全体の 54.4% もあり「認知度が低く、都市イメージの希薄なまち」との課題が浮き彫りとなり、自治体存続に関わる諸課題に早急に対策を講じていく必要があると判断し、シティセールスに関連する調査研究を開始した。

戸田市のシティセールス戦略の特徴としては、2008 年度から 3 年間戸田市政策研究所と戸田市まちづくり戦略会議が連携して調査研究を実施し、全庁的な取り組みとして戦略づくりを進めた。戸田市政策研究所は、市全体の政策形成力向上を目指し、2008 年 4 月に設置した県内初の自治体シンクタンクである。この政策形成力とは、問題・課題を発見し、その調査研究に基づき理論的・科学的な裏付けを作り、解決する手段を立案し実現に向け関係者を納得させる説明を行う力である。組織体制は市長直轄の組織で副市長が所長、各部署の次長職をメンバーとして構成し、新時代にふさわしい施策や行財政システム等を調査研究し、市政運営に生かすことを目的としている組織である。戸田市は「水」と「緑」を感じられる場所が多く、居住環境としての優位性があり「住みよさ」や「子育て・教育のまち」のイメージを積極的に展開することで、「教育」の部分で差別化を図り、子育て時代の転出抑制も意識して都市イメージ形成を図っている。2015 年の国税調査では、人口増加数では全国 15 位であり、人口増加率では全国第 7 位という結果で、2005 年から 2010 年までの人口増加率は 5.5% であったのに対し 2010 年から 2015 年では 10.6% と大きな伸び率を示していることから、シティセールスの効果が表れていると推察することができる。これまで課題であった 15 歳～34 歳 5 歳階層別人口、特に子どもや子育て世代が転入超過へと改善し、平均年齢 40.5 歳と若い世代の定住につながることができている。

本市においても、人口減少社会が進行する中、まちの特徴を生かした他の自治体よりも魅力的なまちづくり、住みたい住み続けたいまちづくりを目指して、戸田市の研究活動等を参考にするなど更なる調査研究を続ける必要があると考える。

志翔会行政調査
H29年3月27日(火) 戸田市役所



撮影：馬場大造



政策秘書室長

梶 山 浩

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号
TEL 048 (441) 1800 (内線433) FAX 048 (431) 6790
E-mail : ██████████

自治体シンクタンク「戸田市政策研究所」の取り組み

～都市間競争を勝ち抜くための政策形成能力向上を目指して～

平成30年3月27日

福島県郡山市議会志翔会 視察資料

戸田市政策秘書室長 梶山 浩
(戸田市政策研究所副所長)

本日のメニュー

- ① 埼玉県戸田市をデータで俯瞰する
- ② 戸田市政策研究所の概要
(設置経緯・組織体制・予算)
- ③ 戸田市政策研究所の機能と研究活動
- ④ 都市間競争時代の自治体シンクタンクの役割について

質疑応答

嬉野市行政調査報告書

平成30年 3月28日(水) 訪問

「議会改革について」

前日は戸田市の視察を行い、空路で福岡空港に移動後嬉野市にて前泊した。今回の視察は宿泊が条件となっており、朝は嬉野市様に送迎されて嬉野市役所塩田庁舎に移動し、行政調査を開始した。

最初に嬉野市議会田中政司議長より歓迎の御挨拶を頂いた。そのお話の中で平成18年に会津若松市議会を視察した後、議会改革に着手し、平成21年7月に議会改革基本条例が施行され今日に至っており、福島県との議会改革におけるご縁について触れられていた。また説明に入る前に、村上大祐市長からもご挨拶を頂いたが、この1月の市長選で35歳の若さで初当選したばかりであり、新聞記者時代における議会とのかかわりとは大分変わったと現職での認識をお話しされていた。また、特産の嬉野茶を全員お土産に頂いた。

ここからテーマである議会改革について嬉野市議会活性化特別委員会委員長の山口忠孝議員より説明を受けた。議会基本条例のポイントは3つあり、①市民参加 ②情報公開 ③議会機能強化のそれぞれをどれだけ実践できるかに尽きる。平成21年に制定するまで他市の多くの議会基本条例を参考にして本市に適する部分を取り入れて策定したので、基本的なところには違いはないのでは。またその時代に合う内容にするために4年に1度の見直しを行っている。

次に市民と議会の関係について掲げているのが「全ての会議の原則公開」や「市民、市民団体、NPO等との意見交換」、「議会報告会の年1回以上の開催(年2回)」である。特に議会報告会(後に議員とかたろう会)は議員それぞれが活動している地域以外でも市民の意見を聞く機会が出来て良かった。会場については最初は大きな会場で行っていたが同じ人たちしか来ない為、各行政区の集会場で2~30名の参加者で、実際に市民からも話のしやすい形式での実施内容になってきている。

次に行政と議会の関係においては一般質問を一問一答の通告制を採用し、質問回数制限なしの質問制限時間90分としている。直近の3月定例会においては15名全員が一般質問を行った。反問権の付与も行っているが今まで使われた事は無い。

以上が嬉野市議会における議会改革の主な内容となっている。

これまでの議会改革における嬉野市議会への評価は下記の通りである。

平成22年度	日経グローバル議会改革度評価	全国第9位
平成24年度	日経グローバル議会改革度評価	全国第3位
平成24年度	早稲田大学マニフェスト研究所・北川教授チームの視察来訪	
平成26年度	「地方議会人」の議会広報クリニックで好評を受ける	
平成26年度	日経グローバル議会改革度評価	全国第9位
平成26年度	ぎょうせい「月刊ガバナンス」7月号に議会改革度で評価を受ける	

最後に嬉野市議会のモットーを記しながら我々郡山市議会もこの信念を持ち頑張る覚悟である。

- ・ 議員が変われば議会も変わる
- ・ 議会が変われば行政も変わる
- ・ 行政が変われば嬉野市は変わる





九州新幹線西九州ルート 2022年開業

未来を見据えた街づくり

嬉野市議会議員

産業建設常任委員会 委員長

川内 聖二

KAWACHI

SEIJI



〒843-0302 佐賀県嬉野市嬉野町大字下野甲2745-5

TEL/FAX: 0954-42-0740

携帯: [REDACTED]

嬉野市議会議員

山口 忠孝

〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿丙九五十一
携 電 話 0954-42-0493
携 帯 [REDACTED]

ようこそ 嬉野市へ

福島県郡山市議会 様

平成30年3月28日(水)

議員控室 10:00~

1 開 会

2 歓迎挨拶
訪問挨拶

3 研修事項
議会改革について

4 閉 会

嬉野市議会視察研修資料



嬉野市議会

議会基本条例について

背景

一般市民から、「議員に市政について負託しているが、議会は政策の提言なども何もせず、単に市長の政策の追認をするだけだ。」との声があった。加えて議会改革の流れが全国的に高まってきた。

そこで、議会あるいは議員としての本来の職責を果たすため、議会改革が必要であり、制度づくりと実践の真摯な取組みを明文化する議会基本条例を制定する動きとなった。

経過

議会基本条例の立案に当たっては、平成18年1月合併後に議員間より提案があるなかで検討を始めて、平成19年7月全員協議会において議会基本条例の最初の学習会を開催した。その後、議会運営委員会による三重県議会や伊賀市議会の視察、更には有志での会津若松市議会等への先進地研修を行いながら、全員協議会や種々の会議を通して研鑽を重ねていった。

平成20年12月議会で議会制度改革特別委員会を設置し、議会基本条例及び政治倫理条例の検討を行った。

その後、平成21年5月1日～20日にパブリックコメントや行政回覧によって公表し、市民からの意見募集を行ったうえで、寄せられた貴重な意見を参考にしながら更に検討をおこなった。

約2年間の立案・検討作業を経て、平成21年6月議会において「嬉野市議会基本条例」及び「嬉野市政治倫理条例」を議員提出議案として上程し、全会一致をもって6月18日可決し、平成21年7月1日から施行して今日に至っている。

北九州市エコタウン視察研修報告書

日時 平成30年3月29日 午前10時から 北九州市エコタウンセンターにて

我々が今回の視察についての説明をうけた施設である北九州市エコタウンセンターは、全国のエコタウンの中で最も早くスタートして、最も充実している「北九州エコタウン」の中核施設となっている。二階の会議室で概要の説明を受けた後、一階にてエコタウンに参加している企業の製品群を見学した。北九州市エコタウンセンターでは、『リサイクル』や『循環型社会』などが学べる『北九州エコタウン』と様々な『エネルギー』について学べる『次世代エネルギーパーク』の施設見学を行っており、市民に対して、「ごみ」として出したものが、リサイクル工場で「資源」に生まれかわる様子や大規模な「自然エネルギー施設」を実際に見学することでこの事業をわかりやすく理解してもらうことができる施設になっている。

北九州市の北西部、響灘に面した若松区の広大な埋め立て地で、ここはもともと、門司区と隣の下関市との間の関門航路や港湾の浚渫土砂や、北九州の洞海湾周辺に集まる工場群から排出されるスラグ（鉱滓）などの廃棄物を埋め立てて工場用地とするために作られたものであった。しかし、北九州市の基幹産業である重厚長大型産業の構造転換がせまられ、この広大な埋立地の活用計画を考え直す必要が出てきた。この埋立地は、2,000haと広大な上、豊富な工業用水に恵まれている、港湾を利用した安価な輸送が可能であるなどの特徴がある。海に面した広大な敷地は圧巻の一言であった。

敷地内には工場群のほかに、太陽光発電、風力発電飲む施設も大規模に配置されていた。アジアの玄関口でもある北九州市がますます発展することが容易に予想された。郡山市においても循環型社会に向けた取り組みをより具体的に進め、かつ、産業の振興をより一層進めなくてはならないと実感した視察であった。

志翔会行政調査

H29年3月29日(木) 北九州エネルギーパーク



撮影：川前光徳



人と環境、
明日へとひびき合う

ひびき灘開発株式会社

HIBIKINADA DEVELOPMENT CO., LTD.

開発企画部開発企画課
エコタウンセンター

北九州エコタウン
20周年



外 丸 歩



〒808-0002 北九州市若松区向洋町10-20

TEL.093-752-2881 FAX.093-752-2882

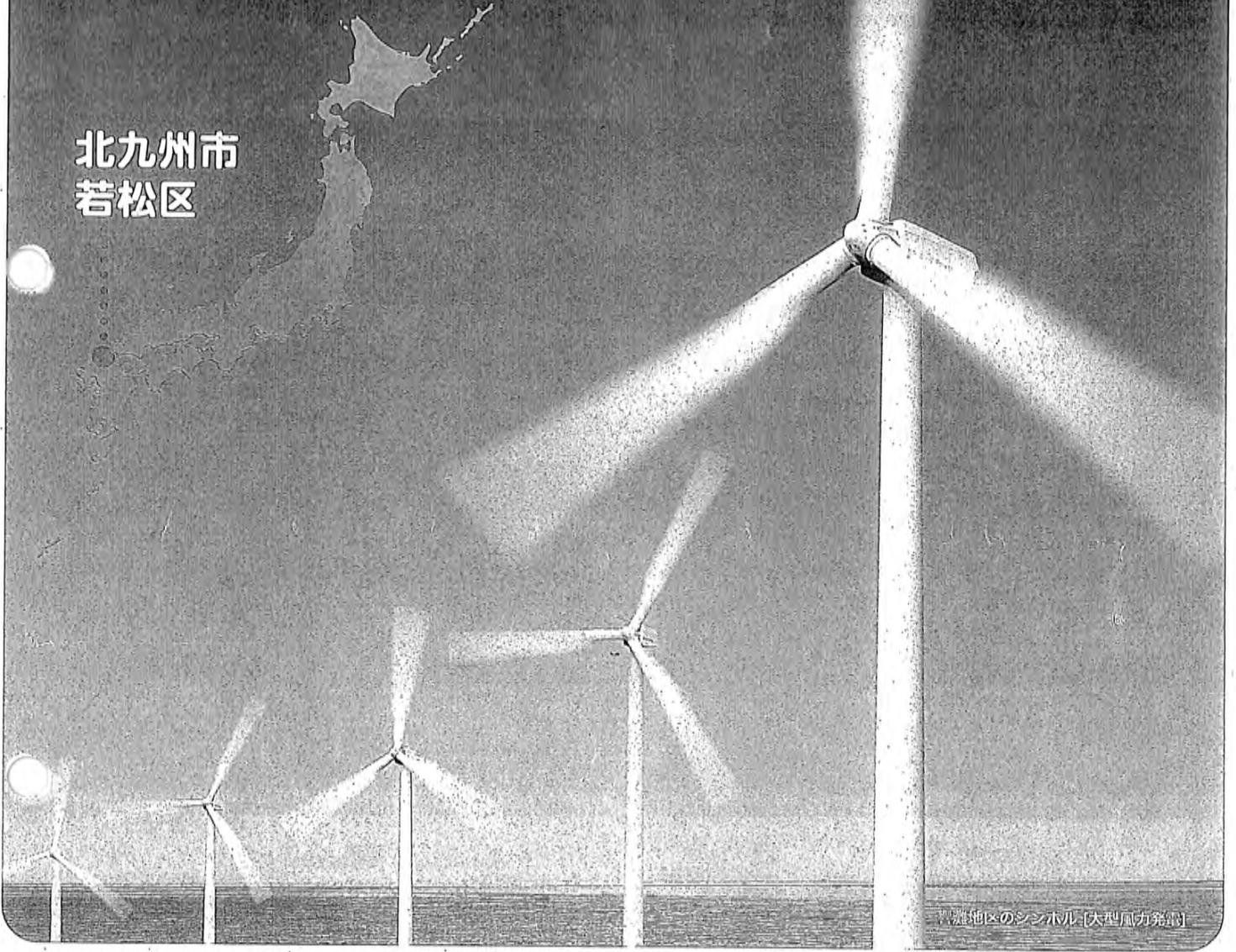
E-mail : XXXXXXXXXX

URL : <http://www.kitaq-ecotown.com/>

環境未来都市 北九州市

北九州 次世代エネルギーパーク

北九州市
若松区



若松地区のシンボル [大型風力発電]

低炭素社会を拓く未来スケールの
フロンティアゾーン始動。



Green Frontier
環境未来都市 北九州市

©teitan, City of Kitakyushu

響灘を臨む絶好のロケーションにエネルギー施設がズラリ。地球のチカラ・技術のチカラを感じに行こう。

地球温暖化の進行や化石燃料の枯渇という問題に直面している私たち。CO2削減やエネルギー問題が注目される中、北九州市若松区に次世代エネルギーパークが始動しました。ここでは、現在の暮らしを支えているエネルギー供給基地や次世代を担う太陽光・風力等の自然エネルギー、バイオマスエネルギーのほか、エネルギーの企業間連携や革新技术の研究の様子など、5つの切り口から捉えた様々なエネルギーの取組みがご覧いただけます。

※北九州次世代エネルギーパークは、平成19年に経済産業省から全国で第1号認定を受けました。

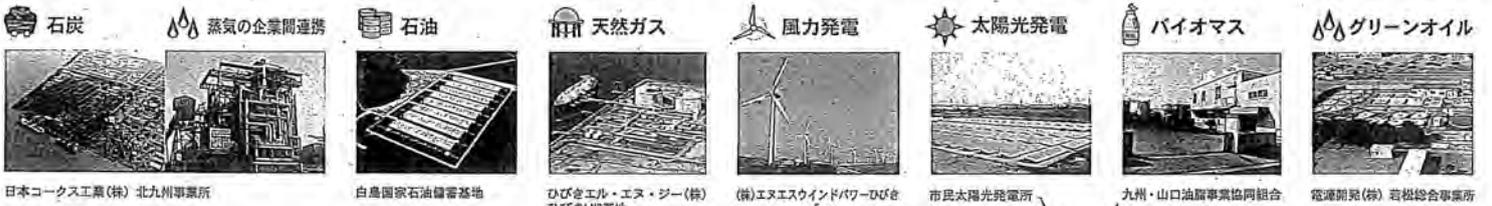
64ヶ所
22Wm² - 100%

40人 17%

43025

北九州次世代エネルギーパーク

平成28年3月現在 (計画中含む)



北九州市若松区響灘地区では、低炭素社会実現に向けたエネルギーへの取り組みを進めるいっぽうエコタウン事業や自然を再生する取り組みも行っています。環境の時代にマッチする「低炭素」「資源循環」「自然共生」の3つの要素をバランスよく推進しています。

エコタウン【資源循環・3R】

エコタウンを中心として、あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにする（ゼロ・エミッション）資源循環型社会の構築を目指します。



響灘 鳥がさえずる緑の回廊創成事業【自然共生】

「緑の回廊」と「緑の拠点（響灘ピオトープ）」の大きく2つに分かれます。市民や企業の協力を得て、「響灘・鳥がさえずる緑の回廊」を創成し、多様な自然環境・生態系をつくりだすことが目的です。



[暮らしを支えるエネルギー供給基地]

石炭

筑豊炭田の積み出し港として栄えた北九州・若松にとって、石炭はとても関わりが深いエネルギーです。

コークス工場

日本コークス工業(株) 北九州事業所

石炭からコークス、コークス炉ガス、タール等を製造する国内屈指の規模を誇るコークス工場です。

■コークス製造能力：5,800トン/日

筑豊炭田をはじめとしてかつては盛んに石炭が採られていましたが、次第に安価な海外炭の輸入量が増え、現在は99%以上を輸入に頼っています。

石油

自動車のガソリンやストーブの灯油だけでなく、服やプラスチックなど、あらゆるところに使われるエネルギーです。

石油備蓄基地

白島国家石油備蓄基地(白島展示館)

日本が消費する10日分の石油を蓄えている最大規模の洋上石油備蓄基地であり、白島展示館では基地や石油について学ぶことができます。

■石油備蓄能力：560万kl

新潟県など一部に油田はありますが、99%以上を輸入に頼っています。

天然ガス

北九州の発電所でも取り入れられている、石油に代わるものとして積極的に導入が進められているエネルギーです。

都市ガス製造工場

ひびきエル・エヌ・ジー(株)ひびきLNG基地

大型のLNGタンカーが入港できるLNG基地です。天然ガスの北部九州における広域供給拠点として、平成26年11月より運用開始しました。

■都市ガス製造能力：6,432,000m³/日

[次世代を担う自然エネルギー]

風力発電

年間を通じて良い風が吹くここ響灘地区のシンボルとなっているエネルギーです。

陸上風力発電

(株)エヌエスウインドパワーひびき 10基

■発電能力：15,000kW

電源開発(株) 1基

■発電能力：2,700kW

北九州風力発電研究所 1基

■能力：1,990kW

エネ・シードウインド(株) 2基

(平成29年3月運転開始予定)

■発電能力：4,000kW

響灘ウインドエナジーリサーチパーク合同会社 2基

(平成30年2月運転開始予定)

■発電能力：6,600kW

(社)日本再生可能エネルギー推進機構

■小型風車認証試験場

自然電力㈱ 1基(建設予定)

洋上風力発電

電源開発(株)着床式 1基

■発電能力：1,980kW



太陽光発電

太陽の光を利用して、化石燃料を使わない発電をしています。北九州市で最も普及が進んでいる自然エネルギーです。

メガソーラー

電源開発(株)：1,000kW

エネ・シードNOK(株)：1,800kW

大和エネルギー(株)：1,990kW

JAG国際エナジー(株)：2,000kW

北九州市：1,500kW

ひびき灘開発(株)：1,990kW

エネ・シードひびき(株)：22,400kW

エネ・シード(株)：4,100kW

ソーラーパワー北九州(株)：13,000kW

北九州TEK&FP合同会社：5,737kW

HKK&TEK合同会社：1,500kW

(株)高田屋：42,900kW

響灘ウインドエナジーリサーチパーク合同会社

：2,000kW(平成29年10月運転開始予定)

響灘太陽光発電合同会社：1,890kW



中規模ソーラー(株)新出光：518kW

RKB興発(株)：900kW

九州朝日放送(株)：730kW

チヨダウエテ(株)：500kW

追尾型太陽光発電

電源開発(株)：161kW(集光追尾型)

北九州TEK&FP合同会社：45kW



バイオマス石炭混焼発電

木質バイオマスを活用することにより、石炭のみを燃料とする発電に比べCO₂削減に資するエネルギーです。

高効率火力発電所

響灘エネルギーパーク合同会社

同規模の発電所としては、世界最高水準の熱効率の発電設備を採用しています。

平成30年12月から運用開始予定です。

■発電能力：112,000kW

エネルギー利用の革新技术

グリーンオイル

グリーンオイル生産設備 電源開発㈱ 若松総合事業所

世界の様々な海域で生育可能な2種類の藻類から、グリーンオイルを量産する方策を実証しています。生産過程も含めた全体としてのCO₂削減を目指しています。

北九州学術研究都市

環境先端技術の研究都市。キャンパスには太陽光発電・コジェネレーションシステムなどを導入しています。



太陽光発電

■発電能力：150kW

コジェネ(天然ガス)

ガスエンジン発電機などで電気を作る時に発生する熱を同時に利用して給湯や暖房に使うシステムです。

■発電能力：160kW(ガスエンジン)

小水力発電

中小規模の水力発電は、大型ダム開発を行わなくてもできる有効なエネルギーです。

北九州市上下水道局 頓田発電所

■発電能力：68kW

貯水池から浄水場へ水が流れる際の落差を利用した小水力発電所です。

[リサイクルから生まれるバイオマスエネルギー]

バイオマス

使用済み食用油をリサイクルする、バイオマスは私達身近なエネルギーです。

BDF製造施設 九州・山口油脂事業協同組合

事業所や家庭などからの使用済み食用油をリサイクルしてバイオディーゼル燃料(BDF)を製造。BDFは軽油の代わりとして市営バス・ごみ収集車などで活用しています。

[エネルギーの企業間連携(地産地消)]

蒸気の企業間連携

コークス乾式消火設備(CDQ) 日本コークス工業(株) 北九州事業所
コークス製造過程で発生する熱をCDQにより有効利用。発電の他、発生した蒸気を近隣工場へ供給しています。

■発電能力：44,400kW

次世代エネルギーパーク 施設見学

九州市エコタウンセンター別館で基礎知識を身につけたあと、施設見学を実施しています。(施設見学は2週間前までに予約が必要です) 展示コーナーでは、発電の仕組みやエネルギーをめぐる課題、北九州市の先進的な取り組み、エネルギーに関する基礎的な内容から発展的な内容まで楽しく学べるよう常設展示をしています。

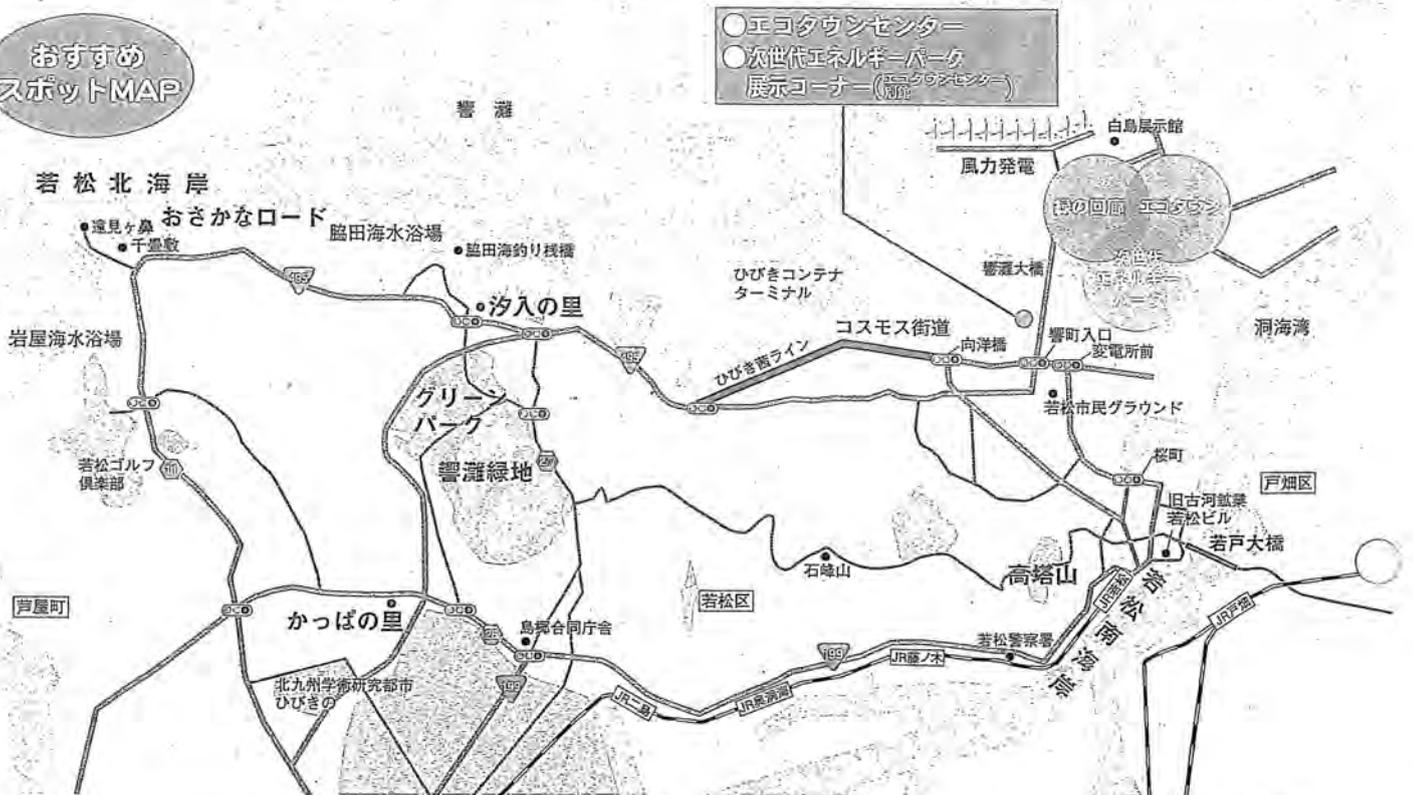
展示コーナーのみの利用の場合は事前予約は不要です。

予約については北九州市エコタウンセンター/TEL093-752-2881 まで



次世代エネルギーパークだけじゃない。 若松には、遊んで楽しむスポットがいっぱい!

おすすめ スポットMAP



■若松北海岸・グリーンパーク

玄海国定公園の北の玄関口・若松北海岸は美しい眺望が連なる海岸で、脇田・岩屋の海水浴場や、夕日の名所「遠見ヶ鼻」など自然を存分に満喫できます。また、市内最大の自然公園・響灘緑地には、グリーンパーク、ひびき動物ワールドなどの施設があり、大花壇やバラ園、カンガルー広場など、花や動物たちとのんびりくつろげるスポットとなっています。



コタウンセンターより車で約25分

■高塔山

戸畑方面より若戸大橋を渡ると正面に標高124mの高塔山が見えます。山頂の展望台からは市街地や若戸大橋、洞海湾が一望でき、特に夜景は宝石箱のような美しさです。展望台すぐそばには火野葦平の小説で有名な「河童封じの地蔵尊」があります。市内有数の桜とあじさいの名所で、6月には5万株以上のあじさいが開花し、「あじさい祭り」で賑わいます。



コタウンセンターより車で約15分

■若松南海岸

かつて日本一の石炭積出港として栄えた「若松」。その面影を残す南海岸通りは、今も大正期建築物が多く残り、港町・若松を象徴するエリアとなっています。レトロ感あふれる旧古河鉱業若松ビルや石炭会館、真紅の若戸大橋など、潮風に吹かれて散策するには最高の場所。石炭や洞海湾の歴史を学べる「旧ごんぞう小屋」や「わかちく史料館」もあります。



コタウンセンターより車で約20分

■海と大地の恵み

【汐入の里、かっぱの里、おさかなロード】
すばらしい自然に囲まれた若松。ここは西日本有数の農水産物の宝庫で、その恵みを味わっていただくため、区内数ヶ所に直売所があります。その日に獲れた響灘の魚介類が所狭しと並ぶ「汐入の里」。若松ブランドのキャベツやトマトなどの農産物が豊富な「かっぱの里」。若松北海岸には、新鮮な海の幸を味わえるお店が立ち並んだ「おさかなロード」もあります。



■汐入の里 TEL.093-742-4111
■かっぱの里 TEL.093-741-6070

北九州市エコタウンセンター

〒808-0002 北九州市若松区向洋町10-20
TEL.093-752-2881 FAX.093-752-2882
■入館料/無料 ■開館時間/9:00~17:00
月曜日~土曜日(祝日、年末年始は休館)

北九州市 環境局 地域エネルギー推進課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
TEL.093-582-2238 FAX.093-582-2196

エコタウン
センターへの
アクセス

自動車をご利用の場合

北九州空港より約45分(苅田北九州空港IC~都市高速~若戸ランプ)
福岡空港より約120分(福岡IC~八幡IC~都市高速~若戸ランプ)

公共交通をご利用の場合

JR「若松駅」下車、タクシーで約15分
または、JR「若松駅」から北九州市営バス「若松営業所」で下車、徒歩約10分

